

決算に関する特別委員会で 令和2年度決算を認定

令和2年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝明戸真弓美、副委員長＝小林行男）を設置しました。9月22日から審査を行い、いずれも特別委員会において認定することに決定しました。



◀決算に関する特別委員会の進行の様子

委員会での審査経過

9月22日

- ・一般会計歳入歳出決算
- 監査委員意見（茂木弘監査委員）等、書面配付
- 総括質疑（9会派）
※主な質問項目は別掲
- 歳出審査（議会費・総務費）

9月27日

- 歳出審査（総務費）

9月28日

- 歳出審査（総務費）

9月30日

- 歳出審査（民生費）
- 10月1日
- 歳出審査（民生費・衛生費）
- 10月4日
- 歳出審査（環境清掃費・産業経済費・土木費）

10月7日

- 歳出審査（土木費・教育費・公債費・諸支出金・予備費）
- 歳入審査（一括審査）

- 採決 採決の結果
認定することに決定
- ・国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ・介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 審査
- 採決 採決の結果
認定することに決定

監査委員による決算審査の報告

令和2年度決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施しました。その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められ、その旨の審査意見を区長あてに提出いたしました。

また、財政健全化法による「令和2年度決算に基づく健全化判断比率」についても、審査の結果、適正である旨の意見を、区長あてに提出しましたことを、あわせて報告いたします。

予算の執行にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴う特別区財政調整交付金の大幅な減など歳入面での減収が見込まれる一方で、歳出面では今後も厳しい財政環境が続くという認識の

下、効果的・効率的な財政運営に努めたものと考えられる。審査の結果、実質収支は黒字であり、基金残高は前年度決算額を上回るなど、極めて健全な財政運営に努めていると評価できます。

しかしながら、令和2年度は顕著に現れなかった新型コロナウイルス感染症による財政運営への悪影響が今後は出現することも懸念されます。

こうした点を踏まえ、事業の休止や徹底的な行政改革の推進等歳出の抑制に努めるとともに、特別区民税の更なる収納率の向上など歳入の確保に努め、歳入、歳出の両面から健全な財政運営に向けた取り組みを確実に実行するよう求め、報告とさせていただきます。

令和2年度 決算の概要

| | | 予算現額 | 歳入(収入率) | 歳出(執行率) | 歳入歳出 差引残高 |
|------|--------------|--------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------|
| 一般会計 | | 1,370億2,829万1,000円 | 1,248億4,786万3,611円 (91.1%) | 1,225億993万7,123円 (89.4%) | 23億3,792万6,488円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 事業 | 239億9,618万8,000円 | 224億4,436万8,612円 (93.5%) | 220億2,832万5,265円 (91.8%) | 4億1,604万3,347円 |
| | 後期高齢者 療養 | 50億8,900万円 | 47億6,711万2,719円 (93.7%) | 47億3,636万8,461円 (93.1%) | 3,074万4,258円 |
| | 介護保険 事業 | 189億9,176万1,000円 | 181億1,554万332円 (95.4%) | 171億7,337万2,779円 (90.4%) | 9億4,216万7,553円 |

令和2年度 荒川区主要施策の成果説明 (一部抜粋・要旨)

生涯健康都市

○基幹相談支援センターの開設

区内の障がい者やその家族が抱える多岐にわたる困りごとについて、関係機関と解決を図るための中心的な役割を担うとともに、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らす仕組みづくりを推進するため開設した。

子育て教育都市

○タブレットPCを活用した学校教育の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置やGIGAスクール構想の推進によるオンライン学習のための環境整備を図るため、タブレット端末完全1人1台体制を構築した。

産業革新都市

○日暮里地域活性化施設の整備

日暮里区民事務所の建替えに伴い、区の産業及び観光資源である日暮里繊維街の特性を活かし、地域住民や来訪者の活動・交流の促進、区内における創業支援や産業振興を目的とした施設ふらっとにっぽりを開設した。

環境先進都市

○低炭素地域づくりの推進

脱炭素社会を実現するため、これまでの気候変動の緩和策に加え、適応策を含めた「地域温暖化

対策実行計画」を策定した。また、シェアサイクル事業を本格実施へ移行するなど、地域における環境負担の低減を図った。

文化創造都市

○俳句文化の振興

「荒川区俳句のまち宣言」を踏まえ、俳句文化の裾野を広げるため、区民が気軽に参加できる事業を実施した。さらに、宣言5周年を記念した、サンパール荒川指定管理者自主事業「夏井いつき句会ライブ in 俳句のまちあらかわ」を実施した。

安全安心都市

○特殊詐欺対策

増加する還付金詐欺やオレオレ詐欺等の被害を防ぐために、不審電話情報の共有化と発生状況を踏まえた集中パトロール、無人ATMへの職員等配置による警備、電話自動通話録音機の設置促進など、地域が一体となった取り組みを展開した。

新型コロナウイルス感染症対策事業

○地域医療体制及びワクチン接種体制等の整備

新型コロナウイルス感染症相談窓口を開設するとともに、区民の円滑な受診、療養体制を整えるため、区内医療機関及び医療従事者への支援や検査体制の拡充を図った。また、国の動向を踏まえ、ワクチン接種体制等の迅速な整備を行った。

主な総括質疑

※ 二次元バーコードから荒川区議会HPの動画に移行します

自民党
土橋 圭子 委員



- ICT教育におけるタブレットの活用の成果と課題について
- プラスチックのリサイクルについて

自民党
斎藤 泰紀 委員



- 新型コロナウイルスワクチンについて
- 東京女子医科大学東医療センターの移転について
- 新病院について

共産党
相馬 ゆうこ 委員



- 令和2年度決算の総括について
- 新型コロナ対策（検査・ワクチン）について
- 保険料の減免の拡大について
- 登校できない子どもに対するオンライン支援について
- 高齢者デイサービス事業者・利用者支援について

公明党
森本 達夫 委員



- 高齢者のみまもり対策について
- 障がい者支援政策について

立憲・ゆい・無所属の会
清水 啓史 委員



- 旅館・ホテル業の許可について

次世代あらかわ
宮本 舜馬 委員



- パートナーシップ制度について

日本創新党
小坂 英二 委員



- 環境確保条例の厳格な適用と火災保険特約加入の義務化について

自由民主の会
藤澤 志光 委員



- 新型コロナウイルスについて

あらかわ元気クラブ
河内 ひとみ 委員



- PCR検査の継続実施について
- 在宅療養の障がい者、高齢者の支援について
- 新型コロナ病床の確保について

維新・子育ての会
山田 晴美 委員



- 業務のスリム化について



▲ 決算に関する特別委員会の委員会室の様子

新年号（令和4年1月1日発行予定）の表紙写真を募集します

【テーマ】 荒川区内で撮影した **荒川区** または **お正月** をイメージする **未発表の横向き写真**

【締切】 令和3年12月1日（水）午後5時まで

【方法】 応募者の氏名・住所（区外在住で区内に在勤または在学の方は、勤務先名か学校名も記載）・電話番号・撮影年月日・撮影場所・写真のタイトルを記入し、写真のJPEGデータを添付の上、**Eメールで送ってください。**

メールアドレス：kugikai@city.arakawa.tokyo.jp